

2026.1.17(火)

# とわめい

尾張旭市のフェロシルト埋設地

## 「悪臭で他にも産廃混入か」

市民が調査委会設置を陳情

尾張旭市城山町向ヶ丘の造成地に埋められた土壌埋め戻し材「フェロシルト」の問題で

他の産業廃棄物も埋められている疑いが強いとして、同市新居町の男性(53)が16日、調査

明会で、住民側から「03年にフェロシルトを埋める際、悪臭がした」という訴えがあった。

市議会の佐藤信幸議員は「産業廃棄物に関して主体は県が対処するべき問題」と話して

解説のために、地方自治法第百条に定める調査特別委員会の設置を求める陳情書を市議会と谷口幸治市長に提出

と谷口幸治市長は「別の産業

尾張旭市環境課によると、悪臭のでた03年に県に調査を依頼し、調査結果の提出を求めたが、悪臭のある物質は認められなかつたといふ。

した。市長には、同委員会審議のための臨時議会の招集も求めている。男性によると、フェロシルト製造の石原産業が昨年12月と今年1月5日に開いた住民説明会で、住民側から「03年にフェロシルトを埋める際、悪臭がした」という訴えがあつた。市議会の佐藤信幸議員は「産業廃棄物に関して主体は県が対処するべき問題」と話している。

長は「産業廃棄物に関して主体は県が対処するべき問題」と話して

尾張旭市環境課によると、悪臭のでた03年に県に調査を依頼し、調査結果の提出を求めたが、悪臭のある物質は認められなかつたといふ。